

夏のき

令和8年7月10日発行 校長 久保田 勲

あゆみから見える「その子らしい成長」

1 学期の終業式には、「あゆみ」を渡します。

「あゆみ」を手にとると、「〇はいくつだったかな」「△があった」と、つい結果に目が向きがちです。しかし、本校が大切にしているのは、記号の数ではなく、その子らしい成長です。

生活のようすのみとり

「生活のようす」は、今年度から「〇よさが光る」と「△これから期待」の2つの視点で見取っています。

「〇よさが光る」は、その子らしいよさや頑張り、成長した姿を表しています。一方、「△これから期待」は、「まだできていない」という意味ではありません。その子がこれからさらに力を伸ばしていけるようにという願いを込めた、未来へのメッセージです。

大切にしているのは、**友達と比べることではなく、「これまでの自分」と比べてどんな成長があったのかを見つめること**です。一人一人の歩みは違うからこそ、その子らしいよさを丁寧に見取り、認め、次の成長へとつなげていきたいと考えています。

学習のようすのみとり

学習の評価も同じ考え方です。「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」という3つの観点から、一人一人の学びを見取っています。

「**知識・技能**」は、「何を知り、何ができるようになったか」という力です。家庭では、「今日はどんなことを知ったの?」「教えて!」と興味をもって聞いていただき、新しく知ったことやできるようになったことを一緒に喜んでいただけると、子どもの自信につながります。

「**思考・判断・表現**」は、学んだことをもとに考え、自分の言葉で伝える力です。「どうしてそう思ったの?」「ほかにはどんな考え方があるかな?」と問い返していただくことで、自分の考えを整理し、表現する力が育っていきます。

「**主体的に学習に取り組む態度**」は、進んで学ぼうとしたり、粘り強く取り組んだりする姿です。結果だけではなく、「最後まで頑張ったね」「次はどうしてみようか」と、努力や挑戦の過程を認める声かけが、「またやってみよう」という意欲につながります。

学力は、テストの点数だけでは測れません。知る喜び、考える楽しさ、挑戦する気持ち、その一つ一つが子どもの学びを支えています。ぜひ、家庭でも「あゆみ」を囲みながら、「ここが成長したね」「こんなところが素敵だね」と、子どもの歩みを一緒に振り返ってみてください。学校・家庭・子どもの三者で、その子らしい成長を認め合い、喜び合いながら、次の一步を応援していきたいと思います。



▲仲間と学び合う子どもたち（思考・判断・表現）



▲学校 HP

学校 HP の紹介 日々の教育活動や学校情報を発信していきます。学校を知る手段としチェックしてください。